# SDGs未来都市白山市の賑わい創出事業（総括）

団体名●新ゼミナール、齋藤ゼミナール、石川ゼミナール、梅田ゼミナール、牧野ゼミナール
代表者名●新広昭（総合研究所・特任教授）／齋藤千恵（人文学部国際文化学科・教授）／石川美澄（経済学部経営学科・准教授）
梅田充（経済学部経営学科・講師）／牧野耀（経済学部経営学科・講師）

## はじめに

本事業は本学と白山市との包括連携協定に基づいた事業の一環として、地域連携センターの「地域連携による地域貢献活動」推進事業の補助を得て実施したものである。

白山市は国の「SDGs 未来都市」に認定されているが、その大きな目標として掲げているのが「白山手取川ジオパーク」の UNESCO による国際認証である。UNESCO から認証の条件として示されているのが産学官市民のパートナーシップによって認証に向けた大きなムーブメントを起こしていくことである。

そこで、松任駅をはじめとするいくつかのゲートウェイを設定し、そこに交流人口を呼び込み白山ろくにまで誘導することにより白山市全体の賑わい創出につなげるという戦略のもと、観光学、マーケティング、地域経済、管理会計など複数ゼミの専門性を活かした活動を展開し、SDGs 未来都市白山市のプロモーション及び白山手取川ジオパーク国際認証の機運盛り上げの一助とすることを目的として実施した。

## 活動内容

学内の各ゼミに本事業への参画を呼びかけたところ、齋藤ゼミ、石川ゼミ（観光）、梅田ゼミ（管理会計）、牧野ゼミ（マーケティング）が参画することになり、新ゼミ（地域創生）と合わせて５ゼミでの活動となった。

個別ゼミの活動報告については本ページ右段及び次ページ以降にゼミごとに記載する。

## 成果、結果

本活動の成果は、2022年2月21日に白山市への活動報告会で発表した。また、各ゼミで作成した動画は白山市の HP で公開予定である。

## 今後の課題、展望

白山市では大学との連携事業を SDGs 未来都市実現の重要な取り組みと位置付けていることから、本事業を継続・拡大していきたい意向であり、本学としてもそれに応えていきたいと考えている。

## 新ゼミナールの活動

### 松任駅周辺の文化・歴史施設紹介動画作成

新ゼミナールでは、白山市の鉄道のゲートウェイである松任駅の交流人口増を図る目的で次の活動を行なった。

松任駅の南側地区には千代女の里俳句館、松任中川一政記念美術館、松任ふるさと館といった優れた文化施設や加賀の千代女ゆかりの聖興寺、旧北国街道沿いの街並みといった地域資源がある。また、松任駅の駅舎の外観は白山連峰をモチーフにし、駅構内には白山から日本海までの白山市の俯瞰図（パノラマ）が掲示されている。こういったコンテンツを組み合わせ、松任駅に降り立った観光客等に白山をアピールする工夫が必要である。

そこで、松任駅南側地区の文化施設と松任駅を紹介し、それらと白山との関連をアピールする動画を作成し、YouTube で配信する取り組みを実施した。

動画 URL https://youtu.be/Xv2qfwTHGYg

松任駅現地視察（2021年7月3日）